

計算情報学Ⅰ

名古屋大学 情報文化学部
自然情報学科 3年
第1回

鈴木泰博

情報文化学部・大学院情報科学研究科
複雑系科学専攻



ミッション

数値計算の基本的な考え方を理解する
実際の問題解決に応用することができる

フィードバック制度



チェックテストの得点が10点だった。自分はLU分解についてよく理解していないことがわかった...



自分で理解が不足している部分を再度復習する。
復習の結果をレポートにして提出



レポート点をチェックテストの得点に加算する
(最大合計で20点満点まで)



フィードバックレポートの評価基準

自らの言葉で語られているか？を最も重視

(参考) 直感でわかる数学 (岩波書店)

「ヤツツケ仕事」(何かの丸写しなど)には低い評価を与える

文字や図表が明瞭かつ明確か？

判読が困難な手書きの殴り書き数枚のようなレポートは内容はともかく評価は低い。

レポートについて

提出は“任意”
最終評価で60点以上の場合に加点（合否に関係なし）
原則としてレポートによる「救済」は行わない

- レポートはすべて講義で扱ったアルゴリズムの計算機上への実装
- プログラミング言語は問わない
- 提出物はプログラムコードと実験結果および考察
- コピーが疑われる場合はコピー元、コピー先ともに零点

レポート課題

ガウスの消去法、LU分解の計算機への実装と実験（各5点）

レポート課題

逐次法、数値積分（各5点）

レポート課題

微分方程式、偏微分方程式（各5点）